

平成 24 年度自己点検・自己評価及び学校関係者評価報告書

学校法人ひらた学園

IWAD 環境福祉専門学校

1. 学校の教育目標

本校は年齢を越えた様々な人と共に学び、自分と向き合い「自立」していくための学校です。教育理念は「個人の自立と地域社会に貢献できる人材育成」。一人一人が自立し自分の力を地域社会や福祉、または自分の人生へきちんと活かすことのできる人材育成です。教育目標は、「人間性」「希望」「個性」「未来」の四つをキーワードとし「人間性・個性を大切にし、人の持つ可能性を引き出し豊かな人生を一人一人が送ることのできる基礎教育を行います。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

専門の技術や知識を学び、多くの資格を取得して社会人としての就業教育を充実させ、即戦力として就職できるよう教育を行います。特に今年度は、その技術力を地域社会の中で取り組み、実践していく指導を行います。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目的・人材育成像

評価項目		自己評価	学校関係者評価		
		適切-4、ほぼ適切-3、 やや不適切-2、不適切-1	評価委員意見		
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	④ 3 2 1	④ 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ・理念や目的その特性は周知徹底されている。 ・行政や業界との長年に渡る信頼構築を高く評価したい。 ・幅広い年齢層が学べる特色が広く知られていない。 	
2	学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1			
3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1			
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・関係業界・保護者に周知がなされているか	4 ③ 2 1			
5	各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1			

自己評価における

①課題

企業等とのインターンシップを20年前より行っているので業界とのパイプは強い。年齢を越え、県外者も多く、みどりと福祉を連携した独自の教科やコースもあるあるので、学校として内容や目的、将来像などその特色を広く理解してもらうことを更に徹底したい。

②今後の改善方策

学校の特色を抽出して、もっと広く周知させるように教職員共に研修等を行い、学生に教育及び将来に自信が持てるように授業を行う。

(2) 学校運営

評価項目		自己評価		学校関係者評価	
		適切-4、ほぼ適切-3、 やや不適切-2、不適切-1		評価委員意見	
1	目的に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、 又、有効に機能しているか	4	3	2	1
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	3	2	1
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

・「個人の自立と地域貢献できる人材育成」が周知徹底されている。
・行政や業界、地域と信頼し合える学校運営は評価できる。

自己評価における

①課題

年度毎の目標と事業計画を作成するが、プロセスの検討が必要である。又、各部署間の情報の共有化をもっと推進したい。

②今後の改善方策

年度の目標に対して、月次の事業計画と成果に対する反省や評価を行い、業務の効率化を進める。

(3) 教育活動

評価項目		自己評価			学校関係者評価				
		適切-4、ほぼ適切-3、 やや不適切-2、不適切-1			評価委員意見				
1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	4	3	2	1	
2	教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2					1
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2					1
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2					1
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われているか	4	3	2					1
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2					1
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2					1
8	職業教育に対する外部関係者からの評価をとりいれているか	4	3	2					1
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2					1
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2					1
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2					1
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2					1

・非常勤講師を含めた教員の授業力や指導力の向上が必要。
 ・業界との連携を体系的に構築してはどうか。
 ・行政や業界と連動した学外演習の取組みは大きな特色である。

13	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 (2) 1		
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 (2) 1		

自己評価における

①課題

教職員の更なる技術と教育指導力のレベルアップと学生への適切な指導力を身につける。

②今後の改善方策

指導力向上のための研修参加と個々の教職員の課題や目標を明確にしてレベルアップを図る。授業評価の在り方の検討を行う。

(4) 学修成果

評価項目		自己評価	学校関係者評価	
		適切-4、ほぼ適切-3、 やや不適切-2、不適切-1	評価委員意見	
1	就職率の向上が図られているか	(4) 3 2 1	4 (3) 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる中途退学の低減を図る。 ・同窓会の設立が必要ではないか。 ・資格取得数は素晴らしい。
2	資格取得率の向上が図られているか	(4) 3 2 1		
3	退学率の低減が図られているか	4 (3) 2 1		
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 (3) 2 1		
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 (3) 2 1		

自己評価における

①課題

県外者や社会人も多く、卒業後の活躍や状況が全てに把握できているとは言えない。

②今後の改善方策

同窓会組織を設立して、学校新聞やその他情報を定期的に発信する。定期的な同窓会の開催をサポートする。

(5) 学生支援

評価項目		自己評価	学校関係者評価	
		適切-4、ほぼ適切-3、	評価委員意見	

		やや不適切-2、不適切-1								
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1	4	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・学生満足度を向上させるという意識を持つ。 ・就職支援センターも機能しているが更なる充実を図る。 ・保護者との連絡会を定例で設置してはどうか。
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1					
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1					
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1					
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1					
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1					
7	保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1					
8	卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1					
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1					
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1					

自己評価における

①課題

高校とのキャリア教育の連携がまだまだ少ない。経済的側面の支援は、奨学金・教育ローン・特待生制度以外での支援方法を図る。

②今後の改善方策

各高校そして中学校に出前授業を推進しながら、資格取得等のサポート授業を実施する。学校特待生枠を広げる他支援方法について同窓会組織も活用する。

(6) 教育環境

評価項目		自己評価		学校関係者評価						
		適切-4、ほぼ適切-3、 やや不適切-2、不適切-1		評価委員意見						
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1	4	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は整備されているが更なる充実を検討する。 ・海外研修も検討してはどうか。 ・実習先の分野拡大を図る必要が
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1					

3	防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1		ある。
---	-------------------	---	---	---	---	--	-----

自己評価における

①課題

- ・施設や設備の更なる拡充を図る。
- ・海外研修体制を整備する。

②今後の改善方策

教育環境の充実に向けて、施設や設備の拡充を推進する。学科内容に合致した海外研修先を具体的に検討し早い段階での実施を目指す。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目		自己評価				学校関係者評価			
		適切-4、ほぼ適切-3、 やや不適切-2、不適切-1				評価委員意見			
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1				
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1	4	3	2	1
3	学生納付金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1				

・学生の受入れ募集については適切に実践されている。

自己評価における

①課題

募集活動において、在校生や卒業生の状況報告を、もっとわかり易く具体的にそして定期的にも実施したい。

②今後の改善方策

高校へ卒業生の資格取得ほか就職状況や現状報告などを定期的に行なう。

(8) 財務

評価項目		自己評価				学校関係者評価			
		適切-4、ほぼ適切-3、 やや不適切-2、不適切-1				評価委員意見			
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1				
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1	4	3	2	1
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1				

・学校法人となり、中長期的には安定の方向にあると言える。

4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1		
---	--------------------	---	---	---	---	--	--

自己評価における

①課題

学生募集において今後は少子化等更に厳しい状況が予想されるが、いかに学校や学科の特色を持たせるかそれを学生募集にどう生かせるか。

②今後の改善方策

社会人の募集強化と業務の効率化を図る。

(9) 法令等の遵守

評価項目		自己評価				学校関係者評価				
		適切-4、ほぼ適切-3、 やや不適切-2、不適切-1				評価委員意見				
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1	4	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・法令順守は適正に実施されている。 ・学校情報を公開していくことが学校の発展にも繋がる。
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1					
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1					
4	自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1					

自己評価における

①課題

学校評価制度の推進と充実を図る。

②今後の改善方策

自己評価含めて学校情報の公開に努める。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目		自己評価				学校関係者評価				自己評価			
		適切-4、ほぼ適切-3、 やや不適切-2、不適切-1				評価委員意見							
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1	4	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献・地域貢献への信頼を得るための取組みが実践されている。 			
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1								

3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	④ 3 2 1	・無料講演会や職業訓練を毎年積極的に実施している。
---	---	---------	---------------------------

自己評価における

①課題

理念の中に「社会貢献」を掲げているので、地域への貢献や県・市・福祉施設でのボランティア活動など積極的に協力・参加を更に進めていく。

②今後の改善方策

学生は地域との連携、企業等との連携により自信を持って就職が出来る。卒業して就職先で積極的に社会参加して行ける力が身につくのでこれからも推進していく。

(11) 国際交流

評価項目		自己評価	学校関係者評価	
		適切-4、ほぼ適切-3、 やや不適切-2、不適切-1	評価委員意見	
1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 ③ 2 1	4 ③ 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は積極的に留学生受け入れを推進する必要がある。 ・海外研修と並行して検討してはどうか。
2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	④ 3 2 1		
3	留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 ③ 2 1		
4	学修成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 3 ② 1		

自己評価における

①課題

留学生受入れを積極的に進めていく。

②今後の改善方策

関係先との連携を強化していく。学習成果の評価制度を具体的にまとめる。